

## もう地上波TVでは物足りない

### 『デジタル衛星放送完全ガイド』

デジタル衛星放送「パーフェクTV」の本放送が10月から始まったが、BS放送と区別がつかない人もいる。そんな人におすすめなのが本書である。CSデジタル衛星放送とは何かから始めて、受信するために必要となる機材の解説や、開局したばかりの「パーフェクTV」のガイド、来年から放送を開始する「ディレクTV」のガイド、その他のデジタル衛星放送の紹介とへ続く。デジタル衛星放送は、

30Mbpsの広帯域とMPEG2動画像圧縮技術を使ったデジタルデータ伝送によって、100以上のチャンネルを放送することができるようになっている。さすがはデジタル放送。とすれば、30Mbpsを100チャンネルで分割しても1チャンネルあたり300Kbpsはあるわけで、これならば、CD-ROM収録の動画以上のクオリティは出せるはず。そうなるかと画質がどれほどなのか、実際に受信画面を見たくないので、こっそりと家電店に行ってみた。この本を読めば実際に放送を見たくなる。しか



し、パーフェクTVのチューナ

ーが他のデジタル衛星放送に対応できるかどうか不明な点も多く、今買おうか、ディレクTVの始まる来年まで待とうか迷ってしまう。ああ、読まなければよかった。新しいもの好きは、注意して読まない後悔するかも。

縄文社著  
日経BP社発行  
206頁  
1600円  
ISBN:4-8222-4054-1



# 拡大するネットワーク

菊地宏明 Hiroaki Kikutchi

## 世界を席卷するアジアの新星

### 『電腦大国 台湾の奇跡』



黄欽勇著  
田島真弓訳  
アスキー・発行  
308頁  
1600円  
ISBN:4-7561-1907-7

ふと見ると傍らのノートパソコンに挿入されたPCカードは台湾製だった。DOS/Vパソコンの専門誌をパラパラめくると、マザーボードの評価記事を賑わしているのは台湾製高性能ボード。かつて、欧米でソニーブランドが日本のものだと思われなかったように、台湾の製品も日本のブランド製品であるかのように身近に感じられる。DOS/Vパソコンのエイサー社、スキャナーのマイクロ

テック社なども台湾のメーカーであるという、今さらながらびっくりする人がいるかもしれない。昔、家電製品に感じられたB級品のイメージは、今や完全に払拭されている。いつのまにか急成長を遂げ、世界市場に食い込んでいった台湾の情報産業を解説する一冊だ。なぜ、アジア諸国の中で台湾の情報産業が飛躍的に発展したのかが、いろいろな側面から捉えられている。また、台湾を中心にして、日本とのパートナー関係や、韓国、シンガポールなどとのライバル関係も把握しやすい。そして、台湾の情報産業の将来に向けての戦略はどうなっているのか。これを読むと、欧米が日本に対して感じていた脅威を、わが身を感じることができるだろう。情報産業では日本がまだまだリードしていると思っているのなら一読するとよい。

## 業界団体まで発足した新市場

### 『インターネット家電の衝撃』

パソコンを使ってインターネットにアクセスすることも当たり前になってきたのか、最近では家電製品の中にも、インターネットにアクセス可能な機能が取り入れられ始めた。WWWブラウザの画面が出てきて、テレビ放送との2画面表示が可能なワイドスクリーンテレビ、WWWブラウザが動くゲーム機や、通信カラオケ機器などにより、子供、主婦、OL、中年年といった「パソコンでインターネットする」には縁遠かった層をターゲットに、インターネットにアクセスする家電製品が

続々と現れている。この現状を捉えた日経ビジネスの別冊をまとめ直したのがこの本である。新たな時代の幕開けになるのかと思われるインターネット対応の情報家電を追って、それらがもたらすものや、プロバイダーやメディアの対応、将来像を描いている。目玉は、パソコンで使っているような高価なハードウェアを使わずに安価にインターネットへのアクセスを行わせるソフト「NetFront」を開発して家電製品に組み込んで供給した(有)アクセス社長へのインタビューだろう。また、家電メーカーが特定プロバイダー用の接続設定済みの製品を大量に販売すると、プロバイダーの淘汰が進むという、思ってもみなかった話へと展開していく。



デジタルメディア研究所編  
(株)メタ・プレーン発行  
206頁  
1600円  
ISBN:4-944098-13-8

## 電子商取引に携わるすべての人に

### 『インターネットコマース』

商取引の電子化は急速に進んでいる。先日届いた通信販売のカタログの中にはCD-ROMが同封されており、電子化されたカタログを見ることができる。こうしたカタログの申し込みは、インターネット上のホームページからできる。今後、このようなシステムが普及すれば、重いカタログに郵便受けを占領されなくてすむだろう。このように増加傾向にあるインターネットコマースだが、インターネットを商売に活かそうと考えてもどこから始めてよいものかとんとわからず、デジタルキャッシュやセキュリティについての技術など、始める前に知っておかな

ければならないことが山ほどある。そんな人にはこの本が最適だ。インターネットコマースのメリットや、ベースとなる基礎技術の解説、決済を支援するインターネットコマースプロバイダーの紹介、SecureWebサーバーの説明、デジタルストアの开店手順、成功の秘訣、デジタルストアの成功例、インターネットコマースの未来などがバランスよくまとまっている。原書は米国の出版物だが、監訳の段階において、米国と異なる日本の状況もある程度盛り込まれている。今まで紹介したこの種の本の中では、一番のお勧めだろう。



Andrew Dahl, Leslie Lesnick 著  
電通総研 吉田望 監訳  
インプレス発行  
369頁  
2980円  
ISBN:4-8443-4910-4

## 音楽ファンなら使いこなせ!

### 『インター“ミュージック”ネット』

東京のFM局J-WAVEのファンの私は、ラジオから流れる曲が気に入ったときに、その情報を引き出す目的でインターネットを使っている。曲がかかった時間を憶えておいて、J-WAVEのホームページから検索すると曲名やアーティストがバッチリとわかるのだ。このような使い方を紹介しているのがこの本だ。本書は「音楽ファンのためのインターネット」とサブタイトルにあるように、音楽ファン限定のインターネットイエローページになっている。第2部「こうすれば、インターネットがおもしろ

い」が一番のお勧め。インターネットを使って、CDショップや通販のホームページを巡ってお目当てのCDを捜したり、海外のコンサートチケットを予約したり、いろんなヒットチャートやアーティストのホームページを覗いたり、ヴィンテージギターを捜したりする。楽器を演奏できる人もできない人も楽しめる。第3部では、音楽関連のホームページを見るには必携のプラグインやヘルパーソフトの紹介があり、インターネット初心者のフォローにも怠りない。音楽に興味がある人はインターネットから引き出せる情報がいかに多いかを知ることができて楽しいだろう。そして、音楽ファンの必読イエローページが第4部に掲載されている。



芥川尚一郎他著  
(株)音楽之友社発行  
183頁  
1300円  
ISBN:4-276-96028-2

## ホームページと踊ろう!

### 『踊るホームページ』

プログラムが嫌いなマルチメディアアーティスト、言い換えれば絵を描いてアニメーションをホームページで公開したいけど、プログラムは描きたくない人向けにアニメーションページの書き方を解説する本。まえがきに、この本を読んでもできることとできないことがはっきり書いてある。できること、ホームページのおさらい、Directorが好きになる、アニメーションの仕組み、

コンテンツの作り方...。できないこと、JAVAプログラマー、Directorの達人になること。内容は、JAVAを使っての簡単なアニメーション、DirectorとShockwaveを使ったアニメーションを作ることがメインとなる。JAVAとShockwaveで作られたアニメーションの違いなどもあらかじめ説明され、作成したいコンテンツによって使い分けることができる。簡単にDirectorのおさらいもされて、親切でいいだ。「ウゴウゴル

ーガ」でお馴染みの著者が作ったアニメーションのサンプルがCD-ROMに収められている。CD-ROMはWindows、Macintoshともに対応するが、内容はMacintosh中心に書かれている。



うるまてるび著  
(株)ビレッジセンター出版局発行  
267頁  
2600円  
ISBN:4-89436-038-1



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)